

2021年12月6日

宝塚市教育委員会

教育長 五十嵐 孝 様



宝塚市教職員組合
執行委員長

山田

栄治



年度末人事異動に関する申し入れ

貴職におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素より、宝塚市の教育発展のためにご尽力いただき、心より感謝いたします。

昨今の市内不祥事案の発生をふまえ、私たちもこの事実を厳粛に受け止め、学校長のリーダーシップのもと「チーム学校」の機能を発揮し、再発防止にむけたとりくみをはじめ「宝塚の教育」への信頼回復にむけて全力でとりくんでいるところです。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の学校での感染拡大防止対策だけでなく、それに起因する見や差別、心のケアを要する児童生徒の増加といった教育課題が表出じてきています。これらをはじめとする今日の教育課題の解決にあたっては、教職員ひとりひとりが夢と誇りをもち、教育の専門家としての資質向上に努め、ゆとりがある中で「チーム学校」として児童生徒に向き合っていくことが重要です。とりわけ「チーム学校」の機能の発揮にあたっては、県教委通達「こころの通いあう学校運営について」（91.05）を活かし、教育活動を支援する体制の充実、学校組織の活性化、教職員の信頼関係を構築する協力・協働の職場づくりを一層推進していくことがもめられています。

そうした中で、年度末に行われます人事異動が学校現場をいっそう活性化させ、教育活動をより充実させるうえでたいへん大きな影響があるということは言うまでもありません。また、教職員の勤務条件にかかる重要な問題でもあります。私たちは下記事項の実現こそが、上記の目的にかなう方向であると確信しています。

2021年度末人事異動にあたって、再度、下記のとおり申し入れますので、十分にご検討のうえ、誠意をもって対処されますようお願い申し上げます。つきましては、早急に団体交渉の場を設定し、文書で回答されますよう要請します。

記

<基本的事項について>

1. 人事異動は本人の意志を尊重して、不当な転退職は行わないこと。
2. 人事異動は全て公平の原則に従い、年令・性別・思想・信条・学歴等による差別的な取り扱いを行わないこと。
3. 人事異動に際して、本人の希望だけでなく校長会や宝塚市教職員組合から広く意見を参考にして、「チーム学校」としての機能の発揮するための職員構成と市内全体を考えた配置換となるよう努めること。
4. 異動希望調査等については、希望者のみが記入することを原則とし、希望のない者にまで記入を強制することのないよう実施すること。
5. 人事異動に際して、丁寧な聞き取りを行うとともに、本人が納得して異動できるように異動結果については管理職が本人に丁寧に説明するよう指導すること。